

---

# 友から他人へ

遺志乃彼方

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

友から他人へ

### 【NNコード】

N8376C

### 【作者名】

遺志乃彼方

### 【あらすじ】

小さい頃からの友達がいつの間にか溝ができ、離れていってしまう話です。誰もが体験しそうな話なので、共感を持てたらいいとおもいます。

裕太とは小学生の時からの友達だった。いつも一緒にいて、遊びに行き、悪さもした。毎日が楽しくて、ずっと続いて欲しかった。

初めて会ったのは小学1年生の時だった。

同じクラスで、話してるうちに仲良くなり、友達になつた。裕太も俺もやんちゃでガキ大将で、悪戯が好きで、よく先生達を困らせていた。喧嘩もたくさんした。負けず嫌い同士で、大騒ぎになることもよくあつた。中学校に行つても、性格は変わらず、先輩に目を付けられて、ボロボロにされたこともある。

月日が流れ、2年になつた。怖いものがなくなり、鎮のちぎれた猛犬のようだつた。先輩後輩関係なく、気に入らない奴は殴り、学校もあまり行かなくなつた。この時から裕太と俺はズレ始めた。

裕太と道を歩いていると、他校の生徒がすれ違つ。裕太はその生徒から金を巻き上げた。俺はただ見てただけだつた。裕太と長くいるが、初めての事だつた。裕太に何かあつたのか聞くと、

「別に」と言われた。裕太の考えていることがわからない。その日から溝が出来始めた。裕太は学校を来なくなつた。どうしたのかと思うが、連絡が取れなくなつていた。メールも電話も無視された。家に行つても留守だつた。一週間ぐらい経つた日に同級生に捕まつた事を知らされた。1ヶ月が経ち、裕太は久しぶりに学校に来た。雰囲気がいつもの裕太と違う。人を受け付けない雰囲気が漂う。裕太に話しかけたが無視された。態度にムカついたのか、俺は裕太に喧嘩を売つっていた。

「捕まつてたらしいな。万引きでもしたか。それとも、チャリでもパクつたか。」

俺の言葉に裕太はキレて、

「ああ～」と大声を上げた。裕太が近づいて来て胸ぐらを捕まえら

れて

「もう一度言つてみるよ」と言つてきた。俺は、  
「放せよ。パクられていきがるなよ。ダセエよ、おま…」言い終わ  
る前に殴れた。俺も殴り返し喧嘩になつていて廊下でしていいた為、  
先生にすぐに止められた。裕太は止めに入つた先生の手を払い、立  
ち去つていつた。それから裕太は学校に来なくなつた。俺もあまり  
学校行かなくなつた。

道端で見かける時もあつたが、裕太も俺も声をかけないですれ違う。  
楽しかつたあの日、時には喧嘩し、時には笑い合い、思い出の一ペ  
ージ。今は白紙のページが続いている。

## (後書き)

いかがでしたか。初めての小説なので、伝わりづらかったかもしれません、読者の方々が読んで、何かを感じてくれたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8376c/>

---

友から他人へ

2011年1月26日02時25分発行